

第11単元 平均(A)

問題番号	配点	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	①	10 (各5) 式 $(19+34+26+41) \div 4 = 30$ 答 30m	[知技]平均の求め方を理解し、平均を求めることができる。	合計÷個数で平均が求められることを確認する。 ①の③では、0もたして合計を7でわること、②では、「羽」のような分離量でも、平均の値は小数で表してよいことをおさえる。
	②	10 (各5) 式 $(93+88+100+94+90) \div 5 = 93$ 答 93点		
	③	10 (各5) 式 $(40+25+15+0+20+45+30) \div 7 = 25$ 答 25分		
②	10 (各5) 式 $123 \div 6 = 20.5$ 答 20.5羽			
③	10 (各5) 式 $13.2 \div 20 = 0.66$ 答 0.66m			
④	①	10 (各5) 式 $(125+110+105+135+125) \div 5 = 120$ 答 120g	[知技]平均の意味を理解し、それを基に問題を解決することができる。	平均=合計÷個数で求められることから、平均×個数=合計になること、合計÷平均=個数になることを理解させる。
	②	10 (各5) 式 $120 \times 20 = 2400$ 答 2400g		
	③	10 (各5) 式 $6 \text{ kg} = 6000\text{g}$ $6000 \div 120 = 50$ 答 50個		
⑤	20 (各10) 式 $(35+42+36+23+24) \div 5 = 32$ $32 \times 30 = 960$ 答 960人			

第11単元 平均(B)

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① ①	[思判表]計算で求める方法とならず操作を対としてとらえている。	計算によるならし方の有用性を明らかにし、意味理解の徹底を図る。
	② ⑦		
②	㊦に○	[思判表]分離量で0を含む場合の平均の意味を説明している。	資料に0がある場合も、0を含めて平均を求めることに気づかせる。また、分離量の場合であっても、小数で表してよいことを知らせる。

▶思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	2問以上	1問	0問

▶主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。